

草津市議会議員

土肥 こうすけ

News Letter 2025年(第39号)

土肥こうすけ後援会報紙



発行:土肥こうすけ後援会 発行責任者:出原 逸三 編集責任者:三田 哲治

〒525-0044 草津市岡本町1000番地2(ダイキン工業労働組合滋賀支部内) TEL:077-564-1153

若者と中小企業をつなぐ新たな支援策を草津市に提案 「奨学金代理返還制度」導入を市内企業に広げよう！

若者の経済的な不安を軽減し、中小企業の人材確保・定着にもつながる「奨学金代理返還制度」。令和7年6月議会の一般質問にて、市の姿勢や支援の必要性について考えを問い、制度の普及や導入にかかる負担軽減について提案しました。

奨学金代理返還制度ってなに？

この制度は、国や自治体が直接管轄する制度ではなく、日本学生支援機構(以下JASSO)が主導している制度であり、企業が従業員に代わってJASSOへ奨学金を返還する制度です。2021年4月から開始されました。

新制度



質問と答弁のまとめ

土肥こうすけの思い

- ①中小企業が抱える経営課題「若手人材確保」
- ②市政運営課題「若年層の人口流出を抑制」
- ③若者が抱える経済的な将来不安

これら3つの課題や不安の解消につながる手法の一つとして本制度の活用が有効です。市内企業に対して周知・啓発を行い、導入を促す補助を実施するべきと考え、質問しました。

Q1. 若者の市内定着・Uターン促進に繋がる？

A:制度の活用により若年層の市内就職や定住が進めば、**人口流出抑制**や**流入促進**に一定の**効果**があると考えます。

Q2. 人手不足による黒字廃業を防げる？

A:若手人材へのアピールにつながり、定着を促す制度であるため、人手不足を原因とする**黒字休廃業の抑制**が期待できます。

Q3. 若者が前向きなライフプランを描けるか？

A:奨学金返済負担の軽減は精神的な安心感にもつながり、結婚・出産・子育てなど、**将来設計**を前向きに進める後押しになると考えます。

Q4. 制度の周知や導入意向調査・支援体制は？

A:制度の周知は草津商工会議所などと連携して行います。**企業の意向調査も協議のうえ実施し、支援策はその結果を踏まえて検討**します。

Q5. 制度導入後にかかる企業の負担を一部補助する仕組みは創設できるか？

A:今年度から県が補助制度を開始したため、まずはその活用状況や意向調査の結果を見極めたうえで、**市としての対応を検討**します。

市内の中小企業や若者の支援につながる補助制度が確立されるよう、担当部局との協議を進めてまいります。

参議院議員選挙活動 報告

令和7年7月3日公示・7月20日に投開票が行われた第27回参議院議員選挙における支援活動と、結果を報告いたします。

滋賀選挙区

国民民主党公認 堀江あきら候補 惜敗

土肥こうすけは、旧3区(草津・栗東・守山・野洲)の選対本部長として指揮を執りつつ、党员をはじめ、仲間の皆さんとともに街宣活動や政党ビラのポスティング、SNSでの支援拡大に努めました。



選挙結果を受けた土肥こうすけの思い

多くの県民の方からご支援を頂いたにも関わらず、堀江あきら候補を当選させることが出来なかったこと、そして、私たちを代表して立候補してくれた堀江あきら候補に対して申し訳ない気持ちでいっぱいです。

堀江あきら候補に投じてくれた1票が無駄にならないよう、今後も国民民主党の政策実現にむけて精一杯取り組んでまいります。



全国比例区

JAM組織内候補(基幹労連推薦) 郡山りょう 当選

土肥こうすけと同じ産業別労働組合「JAM」の組織内候補として全国比例区で立候補していた郡山りょう候補が当選しました。

中小ものづくり企業で働く仲間を代表し、これから6年間の活躍が働く環境の改善や生活向上につながることを期待しています。

土肥こうすけは、国と地方の連携を一層強化してまいります。



その他の活動



真備町へ視察(4/14)

堤防決壊による水害が発生した岡山県真備町に設置された防災拠点視察しました。草津市の防災につなげてまいります。



町内水路清掃(6/22)

私が住んでいる町内会の皆さんとともに年に一度の水路清掃を実施。住民自治の取組みで互助精神を育ててまいります。



堀江あきら集会(7/12)

JR彦根駅前で行われた参院選期間中の集会に参加。多くの支援者の方々と堀江あきら必勝にむけて結束しました。



保護司として講話(7/19)

大路区の皆様に、受刑者の立ち直り支援と犯罪被害者のフォローの重要性について講話をさせていただきました。